

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
104-73	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション III	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	CIII 718	CREATIVE English Communication III		

1. 編修の基本方針

- (1) 音声、表現などといった英語の言語知識や五つの領域の活動に役立つ知識を理解し、それらを実際の言語活動で活用できる技能を身につけられるようにした。
- (2) 各レッスンの題材は、知識として知っておきたい内容であるばかりでなく、豊かな思考力を育める内容とした。また、我が国および世界の文化への理解を促し、自分を取り巻く世界に広く目を向けることができるように留意した。
- (3) 各レッスンの題材内容の要点などを的確に理解し、理解した内容を活用して、表現したり伝え合ったりすることができるよう、五つの領域の言語活動およびそれらを統合した言語活動を豊富に提供する構成とした。
- (4) 積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、これからの国際社会に生きる日本人として必要なコミュニケーション能力を養うことができるように配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材／言語活動	① 高校生にとって身近で日常的な話題のみならず、知的で確かな教養を与える内容や知的好奇心を喚起する内容を中心とした。(第1号)	Lesson 1～10
	② 豊かな感性や道徳心が培われるよう、高校生の感性に訴えかけるストーリーを採録した。(第1号)	Optional Lesson 1・2
	③ 英語学習に取り組む際の一つの動機づけとして、赤ちゃんが言語を習得するメカニズムについて取り上げた。(第2号)	Lesson 4
	④ デジタイゼーション、デジタルイゼーション、DXを学び、電子書籍は紙書籍より優れているかディベートさせる。(第2号)	Lesson 5
	⑤ スポーツ栄養について学び、その内容をもとに、自分でレシピを考案し英語で説明する。(第2号)	Lesson 7
	⑥ 生活に欠かせない「橋」の構造について学び、その内容をもとに、ある街の架橋計画を英語で提案する。(第2号)	Lesson 8
	⑦ アスリートが社会問題について発信した事例を学び、アスリートは競技だけに注力すべきかディベートさせる。(第3号)	Lesson 3
	⑧ 男女平等社会の実現を目指し数々の裁判に取り組んだアメリカの女性判事について取り上げた。(第3号)	Lesson 9
	⑨ 車いすで世界中を旅行し、海外のバリアフリー環境について発信している男性を取り上げた。(第3号)	Lesson 10
	⑩ 人類と伝染病との戦いの歴史について学び、伝染病予防のための環境を英語で発表させる。(第4号)	Lesson 6
	⑪ 日本の高速鉄道の歴史と未来の高速鉄道の展望、およびその技術が海外に伝播している事例を取り上げた。(第5号)	Lesson 1
	⑫ 日本発の井戸掘り技術が海外で活用され、水の問題解決に寄与している事例を取り上げた。(第5号)	Lesson 2

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 本文への導入ページ，本文ページ，本文で学習した内容を深めるページ，学習をふり返るページという，一連の学習の流れをわかりやすくし，段階的に学習できるようにした。
- 各レッスンの冒頭にはレッスン全体の学習目標を，各ページにはページ別の学習目標を明示し，また，各レッスン末には学習目標をどの程度達成できたかを自己評価するページを設け，生徒の主体的な学びと学習意欲の継続に資するようにした。さらに，後見返しには教科書全体における五つの領域別の **CAN-DO** リストも設けている。
- どの領域の活動を行うかをわかりやすくするために，各活動には五つの領域別のアイコンを置いた。統合的な言語活動を行うことを想定した箇所には複数の領域のアイコンを設置している。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
- 本文内容に関連した背景情報をまとめた特集ページ **Did You Know?** を設け，内容的に関連している他教科や **SDGs** を示した。英語の言語知識やコミュニケーション能力以外にも，さまざまな教養を涵養できるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
104-73	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション III	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	CIII 718	CREATIVE English Communication III		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 何ができるようになるか、どのように学ぶかを明示し、主体的な学びを促進
 - ・どのような言語活動を行うかを含む学習目標を、各レッスンの冒頭と各ページなどに示し、主体的に学習に取り組めるようにした。
 - ・各レッスンで取り上げた題材は課題解決型の本文とし、レッスン末の Final Activity はレッスン全体にかかわる課題を解決する言語活動である。
 - ・各レッスン末には学習目標をどの程度達成できたかをふり返り、自己評価するページを設け、生徒の主体的な学びと学習意欲の継続に資するようにした。
 - ・自己評価のページは、評価のアカウントビリティの担保にもなると期待した。
 - ・後見返しには、教科書全体における五つの領域別の CAN-DO リストも示した。
- 必然性のあるコミュニケーション場面における言語活動で、思考力や判断力を育成
 - ・「英語コミュニケーション III」の五つの領域別の目標を実現するために設定した活動に、領域別のアイコンを置くことで、目標と活動との関係を明示した。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
 - ・クラウドファンディングのウェブサイトやレシピなど、高校生が実際の生活で直面するであろうコミュニケーション場面を多く設定し、必然性のある活動となるように配慮した。
- クリティカル・リーディング、複数の文章の読み取り・聞き取りへの対応
 - ・文章中の事実と意見を判別するタスクを複数設けた。
 - ・本文と Activity Plus は、複数の文章から必要な情報を読み取ったり聞き取ったりする関係性とし、その情報をもとに回答するタスクや、ディベートなどの言語活動を設けた。
 - ・巻頭「Preparatory Lesson」では、クリティカル・リーディングと複数の文章の読み取り・聞き取りなどを取り上げ、本書で学習するために必要なスキルの習得を図っている。
- 音声、句読法、文法事項などの「知識」に対する手当て
 - ・課末「Tips」では、「音声」「語」「句読法」「文構造及び文法事項」を取り上げた。
- 他の教科等で学習した内容や ESD 教育に対応した題材選定
 - ・教科学習と外国語学習を統合する CLIL (内容言語統合型学習) の考え方も背景に題材を選定した。
 - ・他教科で学習する内容を、複数のレッスンの題材として取り上げたことにより、各学校における教科横断・教科連携型の授業に対応できる。
 - ・本文内容に関連した背景情報をまとめた特集ページ Did You Know? に、関連している他教科を示し、教科横断・教科連携型授業において活用しやすいようにした。
 - ・関連教科とともに、関連する SDGs についても示した。現代の諸課題を認識し、対話的な言語活動などによって問題解決能力が育成されることを期待した。

本課の構成と特色

- (1) レッスン扉
 - ・Dictogloss : グループで本課のテーマに関連する英文を聞き、話し合いながら英文を書いて復元する活動。
 - ・Goals for Lesson 1 など : 「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」「学びに向かう力・人間性の涵養」という観点別のレッスン全体の目標。
- (2) 本文
 - ・Goals for Paragraphs : 「思考力・判断力・表現力」の観点からの各ページの目標。

- ・リード文：本文の導入となる内容の提示。
- ・本文：パラグラフの先頭に番号を付した。
- ・側注部：新出単語と発音記号。CEFR-J Wordlist の A2 レベルの語は、表現活動でも積極的に用いた「発信語彙」として赤字にし、他の語と区別した。また、国名などを除く固有名詞等も異なるフォントを用いて区別した。アクセントや発音に注意すべき語にはそれぞれマークを付した。
- ・Now You Say It!：本文内容を参考にして、自分自身の考えなどを表現する活動。
- ・脚注部問い：各パラグラフの要点を確認する問題。
- ・T-F：本文の内容をリスニングによって確認する問題。
- ・脚注部 2 段目：重要表現と例文。

(3) Did You Know?

- ・本文を読んだり、表現活動をしたりする際に参考にしたい背景情報。
- ・内容的に関連している他教科や SDGs も提示。

(4) Make It Your Own!

- ・Goals for “Make It Your Own!”：「思考力・判断力・表現力」の観点からの目標。
- ・Summarize：本文内容をまとめる活動。
- ・Questions：本文全体の理解を確認する設問。
- ・Over to You：自分自身の考えなどを表現する活動。

(5) Activity Plus

- ・Goals for “Activity Plus”：「思考力・判断力・表現力」の観点からの Activity Plus の目標。
- ・リード文：コミュニケーションの場面の提示。
- ・本文：さまざまなテキストタイプの本文を聞いたり読んだりする活動。聞く活動のスクリプトには、語などの学習すべき言語材料が含まれているため、巻末の「スクリプト集」にスクリプトを掲載し、その内容をふり返りやすくさせた。
- ・脚注部 1 段目：新出単語と発音記号。CEFR-J Wordlist の A2 レベルの語は、表現活動でも積極的に用いた「発信語彙」として赤字にし、他の語と区別した。また、国名などを除く固有名詞等も異なるフォントを用いて区別した。アクセントや発音に注意すべき語にはそれぞれマークを付した。
- ・脚注部 2 段目：重要表現と例文。
- ・Comprehension：聞いたり読んだりした本文内容をまとめる活動。
- ・Integrated Task：本文と Activity Plus から必要な情報を読み取ったり聞き取ったりし、その情報を統合して回答するタスク。
- ・Final Activity：本課のテーマに関連した表現活動。ディベートや複数のパラグラフを書く活動など、ある程度時間を割くことを想定した活動とした。

(6) Reflect on Your Learning

- ・各ページの目標を、どの程度達成できたかを 3 段階で自己評価するためのページ。

(7) Tips

- ・各レッスンに関連した「音声」「語」「句読法」「文構造及び文法事項」を「知識」として取り上げた。

その他の特色

- 生徒の自学自習への配慮（二次元コードや URL から動画・音声の視聴が可能）
- 特別支援への目配り（学習内容を視覚的に示すアイコン、学習要素の提示方法や位置を基本的に固定）

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1. Preparatory Lesson 1～3 ①本文（「CHECK」「TRY」および Questions） 本文から必要な情報を読み取ったり聞き取ったりし、要点を把握する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア、イ、ウ 3 内容の取扱い	p.6-17	
②本文（脚注部の語、連語・慣用表現）	2 内容 (1) ア、ウ 3 内容の取扱い	p.6, 8-10, 12, 14, 16	
2. Lesson 1～10 ①Dictogloss	2 内容 (2) ア、イ、ウ (3)① ア、イ、エ	p.19, 31, 43, 55, 67, 79,	別表

グループで本課のテーマに関連する英文を聞き、話し合いながら英文を書いて復元する活動。	3 内容の取扱い	91, 103, 115, 129
②本文（脚注部問いおよび「T-F」） 本文から必要な情報を読み取り、要点を把握する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い	p.20-22, 32-34, 44-46, 56-58, 68-70, 80-82, 92-94, 104-106, 116-119, 130-133
③本文（Now You Say It!） 本文を読んで得られた情報を活用して、自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ, ウ (3)① オ 3 内容の取扱い	p.20-22, 32-34, 44-46, 56-58, 68-70, 80-82, 92-94, 104-106, 116-119, 130-133
④本文（側注部の語, 脚注部の連語・慣用表現） Activity Plus（脚注部の語, 連語・慣用表現）	2 内容 (1) ア, ウ 3 内容の取扱い	p.20-22, 26, 32-34, 38, 44-46, 50, 56-58, 62, 68-70, 74, 80-82, 86, 92-94, 98, 104-106, 110, 116-119, 124, 130-133, 138
⑤ Make It Your Own!（Summarize, Questions） 本文の要点をまとめる活動。また、まとめた内容をもとに回答するタスク。	2 内容 (2) ア, イ (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い	p.24-25, 36-37, 48-49, 60-61, 72-73, 84-85, 96-97, 108-109, 122-123, 136-137
⑥Make It Your Own!（Over to You） 本文を読んで得られた情報を活用して、自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ, ウ (3)① オ, カ (3)② イ（別表参照） 3 内容の取扱い	p.25, 37, 49, 61, 73, 85, 97, 109, 123, 137
⑦Activity Plus（本文, Comprehension） さまざまなテキストタイプの本文から必要な情報を読み取ったり聞き取ったりし、要点をまとめる活動。	2 内容 (2) ア, イ (3)① ア, イ, ウ (3)② ア, イ（別表参照） 3 内容の取扱い	p.26-27, 38-39, 50-51, 62-63, 74-75, 86-87, 98-99, 110-111, 124-125, 138-139
⑧Activity Plus（Integrated Task） 本文と Activity Plus から必要な情報を読み取ったり聞き取ったりし、その情報を統合して回答するタスク。	2 内容 (2) イ, ウ (3)① ア, イ, ウ, オ, カ (3)② ア, イ（別表参照） 3 内容の取扱い	p.28, 40, 52, 64, 76, 88, 100, 112, 126, 140
⑨Activity Plus（Final Activity） 本課のテーマに関連した表現活動。	2 内容 (3)① エ, オ, カ (3)② イ（別表参照） 3 内容の取扱い	p.29, 41, 53, 65, 77, 89, 101, 113, 127, 141
⑩Tips	2 内容 (1) ア, イ, ウ, エ	p.30, 42, 54, 66, 78, 90, 102, 114, 128, 142
3. Optional Lesson 1・2 ①Dictogloss グループで本課のテーマに関連する英文を聞き、話し合いながら英文を書いて復元する活動。	2 内容 (2) ア, イ, ウ (3)① ア, イ, エ 3 内容の取扱い	p.143, 155

②Part 1～5 (本文, 脚注部問いおよび「T-F」) 本文から必要な情報を読み取り, 要点を把握する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い	p.144-153 , 156-165
③Part 1～5 (Now You Say It!) 本文を読んで得られた情報を活用して, 自分自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ, ウ (3)① オ 3 内容の取扱い	p.144-153 , 156-165
④Part 1～5 (側注部の語, 脚注部の連語・慣用表現)	2 内容 (1) ア, ウ 3 内容の取扱い	p.144-153 , 156-165
⑤Make It Your Own! (Summarize, Write) 本文の要点をまとめる活動。また, まとめた内容を書く活動。	2 内容 (2) ア, イ (3)① ア, ウ, カ 3 内容の取扱い	p.154, 166
4. List of Phrases / List of Words	2 内容 (1) ウ	p.170-175

<別表> PL : Preparatory Lesson / L : Lesson / OL : Optional Lesson / AP : Activity Plus

課	タイトル 内容 (関連教科など)	・知識・技能 (Tips)	・テキストタイプ ・言語の働き	配当 時数
PL 1	・ハイブリッドカーについて ・日本人の否定表現 ・児童労働について			4
PL 2	・人類と犬の関わり ・コミュニティバスの廃止			4
PL 3	・ゴッホについて ・国連ユース気候サミットについて ・ウミガメについて ・鉄道の遅延			4
L1	Fast, Safe, and Efficient! 日本の高速鉄道の歴史と 未来の高速鉄道の展望 (理科, SDGs)	・分詞構文の否定形	・ Short essay (AP) ・説明する／理由を述べる／ 主張する	8
L2	Water for Life 水問題解決に寄与してい る井戸掘り技術 (地理歴史, 公民, SDGs)	・無生物主語	・ Crowdfunding website (AP) ・説明する／描写する／依頼 する／注意をひく	8
L3	Athletes as Human Rights Leaders アスリートが社会問題に ついて発信した事例 (SDGs)	・進行形の受け身	・ Article (AP) ・相づちを打つ／説明する／ 主張する／仮定する／反対 する／質問する	8
L4	The Linguistic Genius 赤ちゃんが言語を習得す るメカニズム	・会話における音の変化	・ Script of a lecture (AP) ・報告する／理由を述べる／ 提案する	8
L5	Going Digital: What Does the Digital Age Bring? デジタルイゼーション, デ ジタイゼーション, DX	・イギリス英語のスペリ ングの特徴	・ Blog post (AP) ・説明する／理由を述べる／ 主張する／反対する	8
L6	Mirrors of the Times 人類と伝染病との戦いの 歴史 (情報, SDGs)	・ダッシュ (—) の用法	・ Story (biography) (AP) ・説明する／描写する／助言 する	8

L7	Eat Well, Play Well! スポーツ栄養 (家庭, SDGs)	・ コロン (:) とセミコロン (;) の用法	・ Recipe (AP) ・ 説明する／描写する／要約する／提案する／助言する	8
L8	The Bridge to the Science World 生活に欠かせない「橋」の構造 (数学, 理科, SDGs)	・ 形容詞ではじまる分詞構文	・ Request from the city (リスニング) (AP) ・ 望む／描写する／理由を述べる／依頼する／説得する	8
L9	Notorious RBG 男女平等社会の実現を目指し数々の裁判に取り組んだアメリカの女性判事 (公民, SDGs)	・ if ...以外が条件を表す仮定法	・ Article (AP) ・ 描写する／理由を述べる／推論する	10
L10	No Rain, No Rainbow 車いすで世界中を旅行し, 海外のバリアフリー環境について発信している男性 (地理歴史, 公民, SDGs)	・ 否定語を含まない否定	・ Website (AP) ・ 共感する／説明する／理由を述べる	10
OL 1	Never Too Old 老婦人と過ごす時間の中で大学生が学んだこと		・ Story (P1-5)	6
OL 2	The Drawers 時間を越えた手紙のやり取り		・ Story (P1-5)	6
			計	108